

# どうぶつこうえんニュース

Chiba Zoological Park News

No. 7



# ごあいさつ

Preface

## 動・植物とふれあう市民の憩いの場に

千葉市長

松井 旭

Mayor of Chiba City  
Asahi Matsui



千葉市動物公園は、昭和60年4月28日に一次開園をして以来、早いもので3年が経過しようとしております。

この間、市内外から多くの方々にご利用をいただき親しまれて参りましたこと、心から感謝申し上げます。

一方、昭和61年以来約2ヵ年をかけて整備して参りました二次開園施設がこのたび完成の運びとなり、いよいよ4月20日からオープンすることとなりました。

二次開園では、ゾウやキリンをはじめ大型草食獣等を数多く導入いたしますので、来園者皆様方に大いに楽しんでいただけるものと確信いたしております。

私は、今後とも当公園が「動・植物とふれあう市民の憩いの場」として多くの方々に愛されますよう、さらに努力して参る所存でございますので皆様方におかれましても一層のご支援・ご協力をお願い申しあげ、ご挨拶といたします。

## 目 次

表紙	ボンテボック	1
市長あいさつ		2
グラビア	アジアゾウ	3
特集1	二次開園の動物たち	4
特集2	二次開園の施設	6
動物公園日誌から		8
飼育レポート	ミュビナマケモノの飼育	10
飼育よもやま話	昭和63年度行事予定	11
動物公園案内		12

### 表紙の動物説明

#### ● ボンテボック Bontebok

偶蹄目ウシ科で、体の長さ140~160cm 体重65~80kgです。オス・メスとも角をもち、特にオスの角は3オで50cmにもなります。南アフリカの木のまばらな草原に、群れですんでいます。ごく限られた狭い地域しか分布せず、その上乱獲されたため、個体数がいちじるしく減少し、現在では保護されています。日本の動物園では初めての展示です。

### 動物飼育数

(昭和63年1月31日現在)

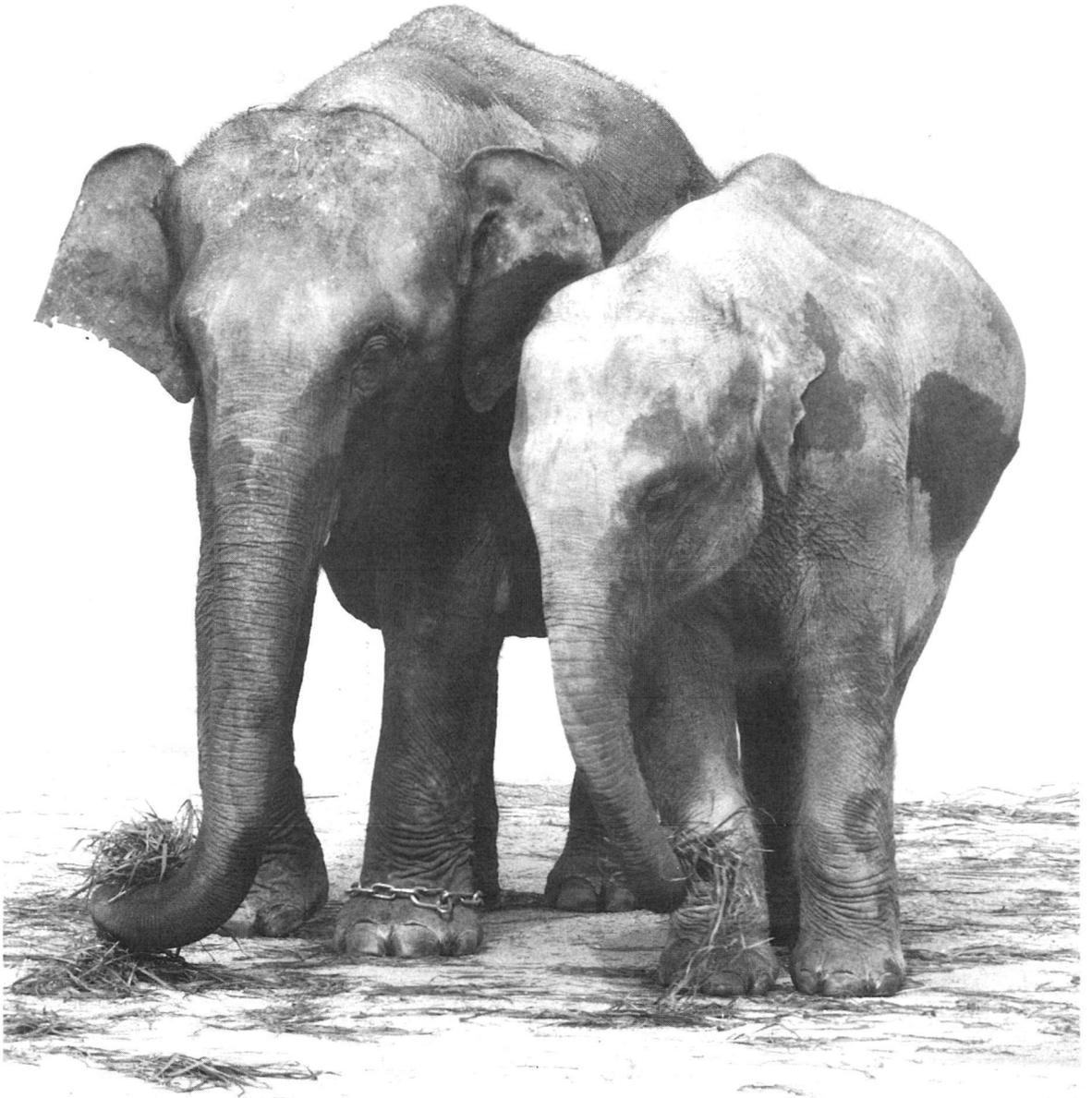
哺乳類	76種	366点
鳥類	53種	233点
爬虫類	4種	21点
両生類	2種	4点
魚類	1種	2点
計	136種	626点

グラビア

# アジアゾウ

Welcome, Two Asiatic elephants

哺乳綱 長鼻目 ゾウ科



2頭のかわいい子象がみなさまをおまちしております。この子象達は雄がスリランカ生まれで雌はビルマ生まれの、3才と5才のかわいい盛りです。ゾウはアフリカゾウとアジアゾウがあり、子象達と同じアジアゾウは3万5千頭しか生息していません。大切に育てて種属の繁栄にも協力したいと考えております。

4月20日の公開後はみなさまのアイドルとなるでしょう。(園長 宗近 功 Isao Munechika, Director)

# 二次開園の動物たち

Animals in the new exhibit

二次開園には、哺乳類12種約50点、鳥類48種約180点、計60種約230点の動物たちが新たに仲間入りします。

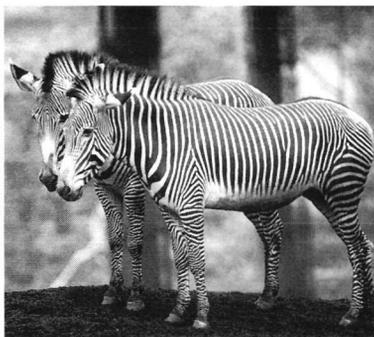
哺乳類はゾウ・キリン・シマウマ、日本初のお目見えのボンテホック、シカ、バク、カンガルーなどの大型草食獣とかわいいミーアキャット（マングースの仲間）、海のあいきょう者のアシカがやってきます。

鳥類では、飛べない鳥のダチョウとエミュー、タンチョウなどのツル、ワシ、タカ、ペンギン、美しいフラミンゴ、カモ、ガン、キジ、トキ、ペリカンなどが勢ぞろいします。

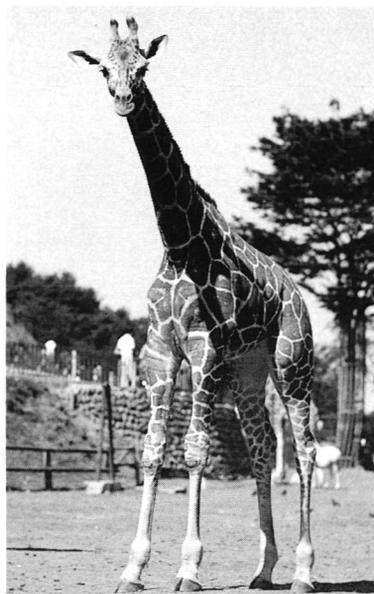
## 草原ゾーン



アジアゾウ



グレビーシマウマ



アミメキリン



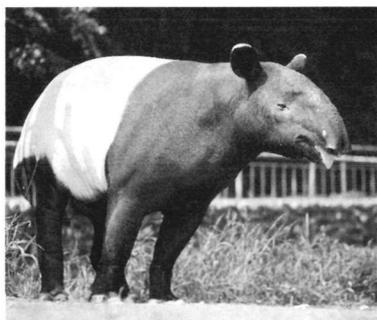
セーブルアンテロープ



ダチョウ



アカカンガルー



マレーバク



ミーアキャット



チリーフラミンゴ

# 鳥類・水系ゾーン



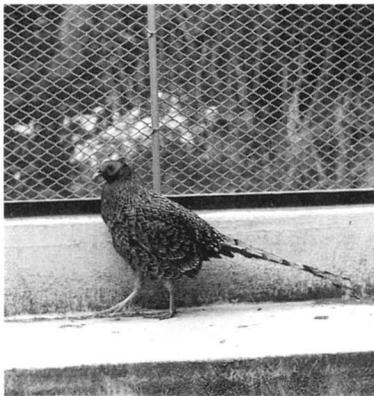
タンチョウ



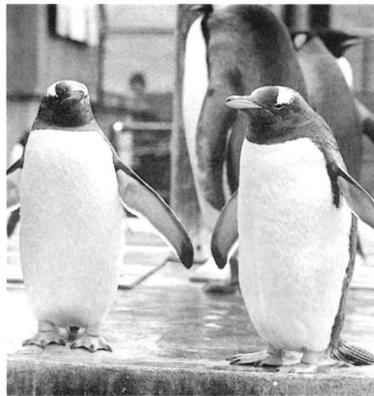
ヘビクイワシ



モモイロペリカン



ヤマドリ



ジェンツーペンギン



カリフォルニアアシカ

## 二次開園展示動物一覧（予定）

ゾ ー ン 名		動 物 名		ゾ ー ン 名		動 物 名		
		哺 乳 類	鳥 類			哺 乳 類	鳥 類	
草 原 ゾ ー ン	ゾ ー ン	アジアゾウ		鳥 類 水 禽 水 系 ゾ ー ン	鳥 類		マナヅル アネハヅル クワヅル オオカナダヅル ハワイガン ツクシガモ コブガモ ヨシガモ ホオジロオナガガモ ハシビロガモ ベニバシガモ モモイロペリカン コシベニペリカン	
	アフリカ草原A	グレビーシマウマ ボンテボック	ダチョウ ホオジロカンムリヅル ハゴロモヅル					
	アフリカ草原B	アミメキリン ハートマンヤマシマウマ セーブルアンテロープ	ツメバガン ホオカザリヅル カンムリヅル					
	オーストラリア	アカカンガルー オオカンガルー	エミユウ					
	ア ジ ア	マレーバク アクシスジカ	シロエリオオヅル マ ガ ン コクガン					
	ミーアキャット	ミーアキャット						
	フラミンゴ		ベニイロフラミンゴ チリーフラミンゴ コガタフラミンゴ					
鳥 類・水 系 ゾ ー ン	タンチョウ		タンチョウ	鳥 類	鳥 類		ヤマドリ ウスアカヤマドリ ミカドキシ オナガキシ ヒオドシジュケイ シュモクドリ アフリカハゲコウ ショウジョウトキ ムギワラトキ アフリカヘラサギ	
	猛 禽		エジプトハゲワシ シロエリハゲワシ オジロワシ イヌワシ ヘビクイワシ ハイイロトビ タカサゴタカ オオタカ					マカロニペンギン イワトビペンギン ジェンツーペンギン
				ア シ カ	カリフォルニアアシカ			

# 二次開園の施設

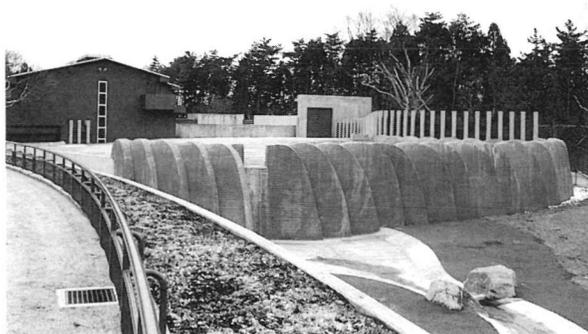
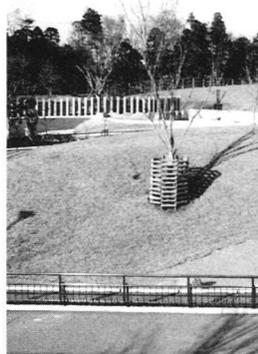
Facilities in the new exhibit

一次開園区域の東側4.2㊦が二次開園される地域で、草原ゾーンと鳥類・水系ゾーンに分かれています。

草原ゾーンは広々としたところに、小川や池を配し、キリンやカンガルーなどの草食獣を展示しますので、まるで、アフリカやオーストラリアの草原にいるようです。

鳥類・水系ゾーンは、それぞれ鳥の生態に合わせた鳥類舎で、見やすく展示されており、ペンギンとアシカは、長い地下通路からガラス越しに水中での動きが観察できる池で展示されています。

このゾーンの中央には、木かげで休むことのできる緑陰広場も設けられています。展望デッキからは、これらのゾーンを一望することができます。



ゾウ舎と放飼場

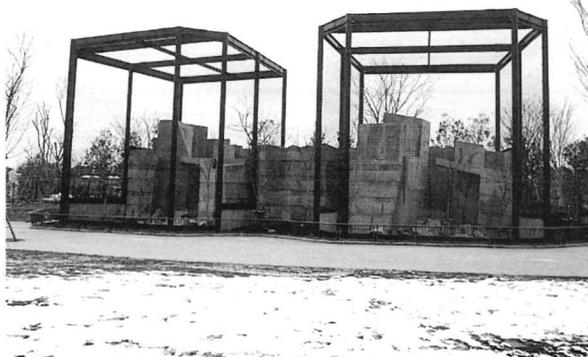


二次開園区域鳥瞰図

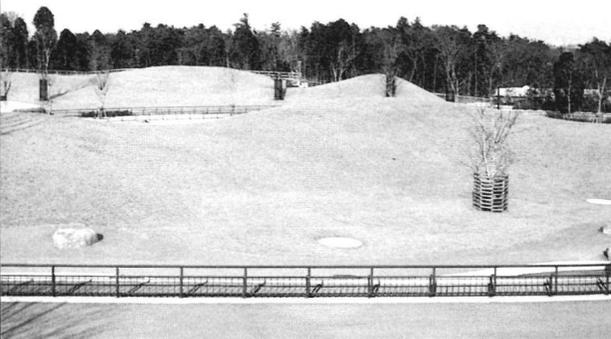
展望デッキ



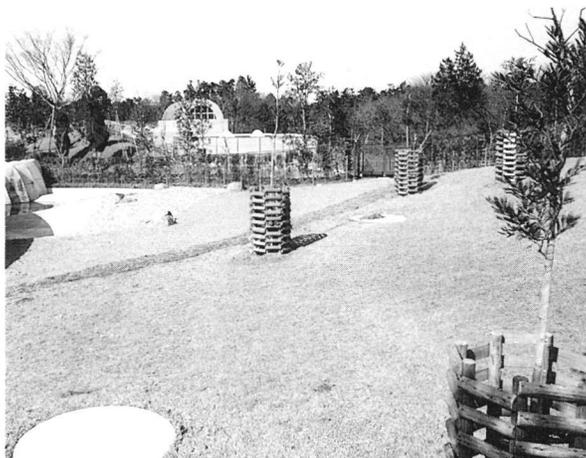
ミークヤット放飼場



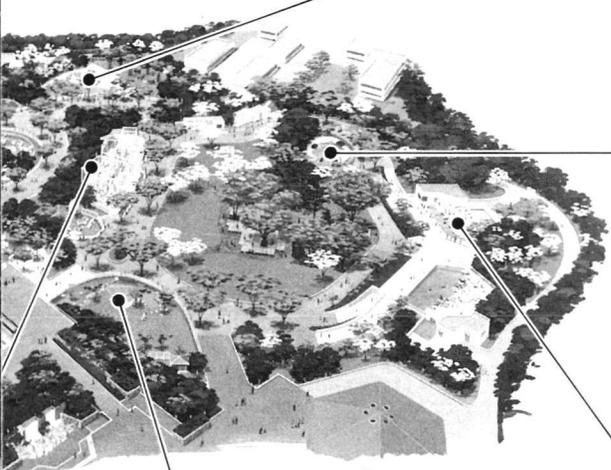
猛禽舎



アフリカ草原



アジア獣舎と放飼場



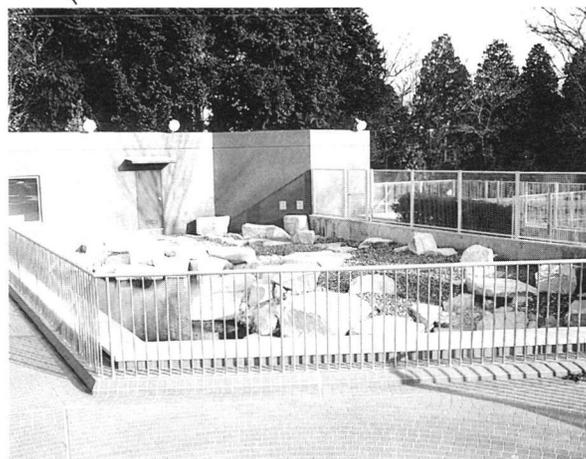
レストラン



水禽類放飼場



タンチョウ放飼場



ペンギン放飼場

# 動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

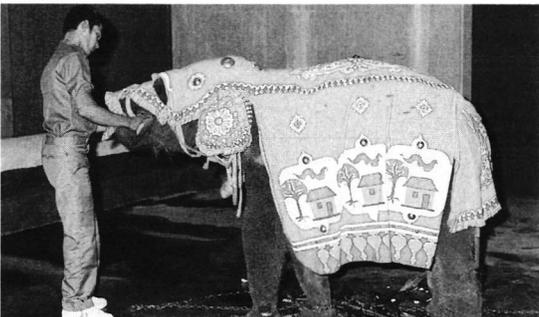
'87年 8月1日～'87年12月31日

- 8月1日 ショウガラゴ繁殖
- 8月2日 イワトビペンギン死亡
- 〃 「自然と遊ぶ教室」開催(講師 ながたはるみ)
- 8月4日 コウラウン死亡
- 8月11日 「動物公園写真コンクール」審査(審査員 動物写真家 吉野信)
- 8月12日 ハイイロコクジャク死亡
- 8月18日 「動物公園写真コンクール」入選作品展(～8月30日)



金賞 「あくび」 内山政治 氏

- 8月19日 オウギアイサ(幼鳥7羽)体重測定
- 8月23日 アジアゾウ(スラタラ)、スリランカ国立動物園より受贈
- 〃 スリランカよりゾウの調教師のジャヤラトネ氏飼育指導のため来園(～9月14日)
- 〃 「動物公園写真コンクール」表彰式及び特別講演(講師 動物写真家 吉野信)
- 8月24日 保護育雛中のカルガモ放鳥
- 8月25日 スリランカからのアジアゾウ贈呈式
- 〃 アジアゾウ特別一般公開
- 〃 特別展「ゾウのふるさとスリランカ」開催(～9月15日)



ジャヤラトネ氏とスラタラ

- 8月28日 ファンボルトペンギン(3羽)新着
- 〃 ウマ(ドサンコ)、ラバ、ヤク(各1頭)
- ヨツヅノヒツジ(2頭)搬出
- 8月29日 ファンボルトペンギン(3羽)子ども動物園ペンギン池に展示
- 9月2日 ワタボウシバンシェ繁殖
- 9月2日 トナカイ(♂)死亡
- 〃 ウスユキバト繁殖
- 〃 オウギアイサ死亡
- 〃 セイロンヤケイ死亡
- 9月3日 オウギアイサ(幼鳥1羽)死亡
- 9月5日 アビシニアコロボス(♀1頭)神戸市王子動物園に寄贈
- 9月7日 飼育研究会(「スリランカとゾウ」と「オウギアイサの繁殖」)
- 9月8日 コウラウン死亡
- 9月10日 モウコノウマ舎植栽保護柵の交換工事。
- 9月13日 ハリネズミ保護
- 9月15日 「動物公園お年寄りの集い」開催(参加者46名)
- 9月17日 クスクスの仔母親の袋の外に出て歩きまわる



クスクスの親子

- 9月17日 オウギアイサ換羽
- 9月19日 ミニブタ(♂2頭)千葉県動物愛護センターへ寄贈
- 9月20日 動物愛護週間特別展「滅びゆく野生動物」開催(～10月10日)
- 〃 「クイズラリーパートI」開催(参加者635名)
- 9月23日 動物愛護週間記念行事
- 9月27日 アジアゾウの血液検査を行う
- 9月30日 クロミミマーモセット預かる
- 10月2日 フェネック(2頭)東京都上野動物園に返却
- 10月4日 「動物ねんど教室」開催(講師 古賀隆一)
- 10月5日 預かっていたチンパンジー(♀1頭)動物業者に返却
- 10月6日 「動物ねんど教室」作品展(～11月1日)
- 〃 ショウガラゴ繁殖
- 10月7日 消防訓練実施



**動物愛護週間特別展**

- 10月12日 新着のハイロヤケイ、セイロンヤケイ、家畜の原種ゾーンのヤケイ舎に展示
- 〃 スレンダーロリス動物科学館夜行性動物舎に展示
- 10月14日 エサの青草イタリアンライグラスに変わる
- 〃 ムジエボシドリ（2羽）、動物科学館バードホール内で保護収容
- 10月15日 ビグミーマーモセット繁殖（2頭）
- 10月17日 モウコノウマ（62年1月生まれ）換毛
- 10月18日 ショウガラゴ繁殖
- 10月19日 カイウサギ（アンゴラ）死亡
- 10月26日 園内動物一斉に秋のニューカッスル病予防注射を行う
- 〃 イワトビベンギン死亡
- 11月1日 「クイズラリーパートII」開催（参加者829名）
- 〃 ルリコノハドリ死亡
- 11月2日 動物公園紹介ビデオ撮影（～3日、毎日映画社）
- 11月5日 ニホンザル破傷風の子防注射及び個体識別用の入れ墨を行う
- 11月6日 富山ファミリーパークへセキショクヤケイ（4羽）寄贈
- 11月8日 タヌキ（♂1頭）保護
- 11月9日 船橋市わんぱく王国にヤギ（5頭）、ヒツジ（3頭）、テンジクネズミ（3頭）、カイウサギ（8頭）寄贈
- 〃 アビシニアコロブス繁殖



アビシニアコロブスの親子

- 11月24日 モウコノウマ身体計測
- 11月29日 トナカイ（♀）落角（191g）
- 11月30日 ワタボウシパンシェ（1頭）、セイロンヤケイ（2羽）、ハイロヤケイ（1羽）新着
- 〃 ショウガラゴ（2頭）、セマドラタマリン（1頭）搬出
- 12月1日 健康管理センターのアカコンゴウインコの室に繁殖用巣箱を設置する
- 12月4日 アジアゾウ（♀）新着
- 12月5日 オセロット（♀1頭）旭川市旭山動物園に貸出
- 〃 キンカジュウ（2頭）旭山動物園に寄贈
- 12月8日 ルリコンゴウインコ繁殖（1羽ふ化確認）。
- 12月11日 バードホールのイワドリに巣材用として水田の土を与える
- 〃 フタユビナマケモノとミユビナマケモノがテレビで生放映される
- 〃 アカコンゴウインコ産卵（1卵）
- 12月14日 ナベヅル（幼鳥）1羽保護
- 12月15日 アカコンゴウインコ産卵（2卵目）
- 〃 イワトビベンギン死亡
- 12月16日 タヌキ（♂1頭）、オオコノハズク（1羽）保護
- 12月17日 ニシムラサキエボシドリ（♀）死亡
- 12月24日 ショウガラゴ死亡
- 12月24日 アビシニアコロブス繁殖
- 12月27日 プレーリードッグ（2頭）、ペルーイシチドリ（1羽）、イワドリ（1羽）、上野動物園に寄贈。
- 12月28日 エリマキキツネザル（♂）預かる
- 12月29日 オセロット繁殖
- 〃 ルリコノハドリ死亡
- 〃 マミジロマキバドリ死亡



オセロットの子

## ミユビナマケモノの飼育

Husbandry of three-toed sloth

ミユビナマケモノは前足の爪が3本あるナマケモノで、南米のジャングルの木の上で葉や実を食べてのんびりと暮しています。セクロピアという木の葉が好物なのですが、この木は南米にしか生えていません。またジャングルのように暖かくて湿った環境を他の場所で一年中保つのは難しいことです。このため今までに原産地の南米以外の場所で飼われたものは皆1年以内に死んでしまい、ミユビナマケモノは飼育のたいへん難しい動物とされています。

昭和61年11月24日の夜に雄雌2頭のミユビナマケモノが南米ボリビアのサンタクルス動物園から当園にやってきました。眼のまわりが黒くてパンダのようにたれ目に見えて、ちょっとニコッと笑ったような口もとをしている。このかわいい動物を何とか長生きさせたいと思いました。そこで暖房のきいた非公開の室内で金網のケージのまわりにビニールを張りめぐらし、さらに中に赤外灯をつけ、また水の中をまいたり床に流したりして、室温27～32℃湿度85%という特別ケージを作り、そこに収容しました。餌はセクロピアの葉を輸入し、他にも鉢植の木や野菜をいろいろ与えてみました。初めは何も食べませんでしたが、やがてセクロピアの葉や鉢植のガジュマルやインドゴムの葉を食べるようになり、雌はリンゴの薄切りも食べるようになりました。

ところが来園してから21日目に雌が餌を食いちぎれなくなってしまいました。菌でも悪くしたのでしょうか。丸1日以上何も食べられなかったのですが、おなかをすかせて食べられるものを探しているうちに、ステンレスのお皿から小さく刻んだ野菜を食べることを覚えました。雄もこれにつられて数日後からいっしょ



に食べるようになり、レタス、リンゴ、小松菜などを刻んで混ぜたこの特製サラダを毎日2頭で450～650gもモリモリと食べるようになりました。

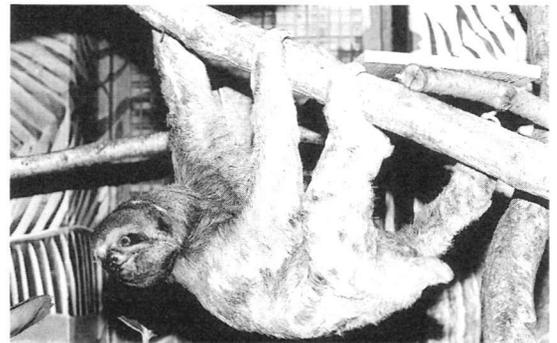
1ヶ月もするとビニール張りのミニジャングルにも

あきたようなので、暖かい昼に毎日1時間ずつケージの外に出してやりました。するとあらゆるところにつかまって上へ行ったり下へ行ったりして室内を探検していました。春になってからは天気の良い日には屋外にも出してみました。

ナマケモノは樹上性動物なので地面の上を動くのは得意ではありません。土の上では四つん這いで歩きました。こうしているうちに人にも慣れて抱いてもいやがらなくなりました。



けれども残念なことに6月に雌の具合が悪くなって死んでしまいました。この雌は病気ではなく、おなかに赤ちゃんがいて、そのために栄養が足りなくて衰弱してしまったようでした。赤ちゃんは、ちゃんと爪も毛も生えていて、あと1ヶ月もすれば生まれていたと思われる大きさでした。



雄は元気に暮らしており、7月に特別ケージから動物科学館2階の展示室に引っ越しました。展示場は広いので特別ケージのような高い温湿度を保つことはできないのですが、かぜもひかずにおり、来園してから1年と3ヶ月たちました。

まだまだ餌の研究をしないとイケないと思います。また1頭だけではさびしうなのもっと仲間を増やしてやりたいなあと思っています。

(柴海 邦成 Kunisige Shibakai)  
(米田 久美子 Kumiko Yoneda)

# 飼育よもやま話

Animal Episode

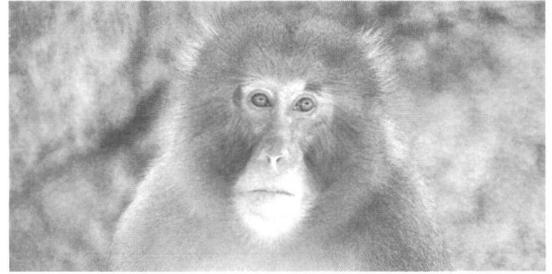
## サル山の恋の季節

Love season of the Monkey Hill

冬、ニホンザルの赤い顔がさらに赤く染まるとサル山に恋の季節がやってきます。サル山には、大人の雄ザルが3頭いますが、この間には厳しい順位があり、その順位によって雌へのプロポーズの仕方も違います。

第一位の雄のところへは、だまっけていても雌が来てお尻を見せ寄りそいます。これは雌からのプロポーズです。雄はこの雌が気に入ると仲良く座って最後に交尾します。交尾までの時間は長く、動作はゆったりして、雌はたいていうつむいて静かに寄り添います。

ところが第二位の雄となるとそうはいきません。彼は、これと決めた雌の後を辛抱強く、雌が止ってくれるまでついていきます。そして、彼女が座ると、まず5m程離れた所に座り、できるだけ彼女を見ないように視線をそらしたり、落ちていた枝をいじって見たりして、時々そっと彼女をうかがいます。そしてまだ彼女が座っていたらあと1m近づいて座り、同じようにならげなさを、よそおいます。このようにして1m、また1mと近づいて、彼女が許せばその後にはびたりと座ります。ところが、たいていの場合、彼女はこの行動の途中で立ち上がりすたすた行ってしまいます。すると彼はまた最初からやり直します。それでも、こういう時の雄は決して雌をおこったり、無理じいしたりしません。丸1日かかっても、ただひたすらに後を追う姿はいじらしいほどです。これで彼女が許して一緒



### ボスのゼロです

に座ると、ここから先がまた大変です。じっと相手を見ることは、攻撃や敵意を表しますから、視線を合わすなんてもってのほかです。

また、第一位の雄に見つかり、その雌は山中を追いかけ回されますので、見つからないように気をつけます。そして第一位の雄の目をぬすんで交尾します。

さらに大変なのは、第三位の雄です。彼は雌と一緒に居るだけで追いかけてしまうのでゲリラ戦法をとります。まだ彼の交尾は1回しか見ていないのですが、その時彼は、他の雄を追いかけても相手にしてもらえなかった雌のそばで何くわぬ顔で毛づくろいをしていました。そしてまわりを念入りに見まわしいきなり走って行って雌に跳びのり、急いで交尾をすますともどって来て何事もなかったように毛づくろいを続けたのです。

暖かくなるにつれて恋の季節は終り、そして可愛い赤ちゃんの誕生と共に山は再びにぎやかな季節をむかえるのです。(松永 恵美 Emi Matsunaga)

## 63年度 行事予定表

時期	行事名	内容
通年	動物映画会 特別展「千葉の野生動物」	動物について、楽しく理解していただくため上映します。(日・祭日・春・夏休み中) 千葉に生息している野生動物をパネルで紹介します。
春	愛鳥週間記念行事 羊の毛刈りと紡毛教室 動物を計る会	鳥の本彫り展を行います。 羊の毛刈りの実演と紡ぎ方教室を行います。 計量の日になんで動物の重さなどのクイズを行います。
夏	サマースクール 動物ねんど教室	飼育体験を通じ動物愛護精神を養うことを目的として行います。 紙ねんどで動物の作り方教室とコンテストを行い作品を展示します。
秋	敬老の日記念行事 動物写真教室 クイズラリー 文化の日記念行事 動物写真コンクール	敬老の日を記念し講演を行います。 園内の動物を対象に、写真教室とコンテストを行います。 園内の動物のクイズを行います。 文化の日になんで講演会と見学会を行います。 園内の動物の写真コンクールと入選作の展示を行います。
冬	新春特別展 バードウォッチング 動物紙工作教室	干支になんだ動物をパネルで紹介します。 園内の野鳥や飼育展示中の鳥の観察を行います。 紙を使って動物を作る教室と作品展を行います。

詳しくは、各行事ごとに市政だよりなどでお知らせいたします。

# 千葉都市モノレール3月28日開通

Chiba City Monorail

動物公園の二次開園に先立ち千葉都市モノレールの「スポーツセンター」と「千城台」間（全長8.1km）が開通いたします。（途中JR都賀駅と連絡します。）

「スポーツセンター」の次の駅が「動物公園」で駅を降りるとすぐ動物公園の正門です。

素敵なモノレールに乗って動物公園にお越しください。



動物公園駅



- ▶開園時間 午前9：30～午後4：30（入園時間は午後4：00まで）
- ▶入園料 大人（高校生以上）500円 小人（小・中学生）100円 小学生未満無料  
（団体） 有料人員30名以上は2割引き  
入園料が免除になる方（窓口で手帳を提示して下さい）  
千葉市在住の60歳以上の方で千葉市発行の身分証を持参の方  
身体障害者手帳を持参の方及び一種の方の介添人1名  
療育手帳及びこれに類する手帳持参の方とその介添人1名
- ▶休園日 月曜日（月曜が休日のときは翌日） 年末年始12月29日～1月3日
- ▶駐車料金 普通車500円 大型車2,000円（マイクロバス含む）

（どうぶつこうえんニュース）  
第7号（昭和63年3月25日発行）

●編集 千葉市動物公園

●発行（財）千葉市動物公園協会

〒260 千葉市源町280番地 ☎0472-52-1111 280 Minamoto-cho, Chiba City, JAPAN

☎0472-52-1221